

授業時数にみる 教育政策の課題

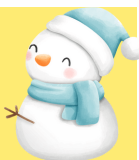


12月21日(日)
10時～12時
オンライン

教育学部会

「授業時数にみる教育政策の課題：
DX・指導要領・働き方改革」

教育学部会 12月例会



報告者：仲田康一さん（法政大学・教員）

授業時数は、教育課程の問題であると同時に、教師の働き方の前提でもあります。十分な教師数を配置し、無理のない標準時数設定をすることで、創意工夫を保障するのが本来です。しかし、中教審審議の中で示された「時数の柔軟化」は、配置を伴うわけでも、教育内容を減らすわけでもなく、単に「やりくりのカリマネ」を現場に丸投げするものです。

「時数の柔軟化」が教育の自由を励ますものであるのか、考えたいと思います。

教育

教育科学研究会

教育科学研究会
教育学部会

zoomによるオンライン

教育科学研究会会員は、無料
非会員は、1000円となります。
非会員大学院生は、500円です。

お申込み Peatix

Peatix申し込み後、
zoomのIDとパスコードを
送らせていただきます。





教育学部会 について



教育学部会は、教科研の「教育実践に即した理論の展開」「教育実践から生まれた課題の理論化」の営みを、会員に還元しながら、全国各地の学校・教師、保護者、市民の子育て・教育の営みを励まし、応援する学習会です。＜深める＞企画と、＜広げる＞企画の両方をバランスよく組んでいきます。

これまでの活動と今後の例会予定

2025年 3/16(日)	報告者：石井英真さん（京都大学） 「学校教育はどこに向かうのかー子どもたちが豊かな文化と出会う個性的な学びの基盤を保障するにはー」
5/25(日)	報告者：本田伊克さん（宮城教育大学・教科研副委員長） 「教科研は学力をどう論じてきたか、いくべきか」
6/22(日)	坂元忠芳の教育学研究の跡を辿って——否定の中に肯定をみることの意義—— 報告者：宮島基さん（沖縄大学） 坂元忠芳の教育学研究におけるドストエフスキー問題 -なぜ「人間の悪」が問題か- 報告者：佐藤広美さん（東京家政学院大学名誉教授） 「否定的な状況のなかに、未来の肯定的な状況の萌芽をみてとる」について
11/16(日)	報告者：石垣雅也さん（北海道教育大学） 教育実践における子どもの事実と指導について
NEW! 12/21(日)	報告者：仲田康一さん（法政大学） 学習指導要領改訂動向を見据えてー教育DX化は学校と授業をどう変えようとしているか（仮）
NEW! 2026年 2/15(日)	報告者：三谷高史さん（宮城教育大学） 「地域と教育」をめぐる現状と研究課題（仮）

今後の予定や、公演の内容がかわることがあります。最新情報については、教科研公式HPにてご覧ください。



教育科学研究会
〒162-0818 東京都新宿区築地町19小野ビル2階
kyoukaken@nifty.com

お申込み Peatix

Peatix申し込み後、
zoomのIDとパスコードを
送らせていただきます。

